

# 第二十五回 織田信長サミット会議 決議文

提案者 甘楽町

戦国の武将織田信長公の優れた洞察力と常識にとられない独創的な発想、そして果敢な行動力と英知により様々な分野の改革を実行した政治実績は、没後四百数十年を経た現在においても学ぶべきところが数多くあります。

分権型社会システムへの転換が求められる今日、信長公が時代を読む先見性で天下を制したことから学び、私たちが一丸となって新しい扉を切り開くときを迎えています。

こうしたなか、本日ここに信長公ゆかりの歴史をもつ関係市町が一堂に会し、観光・文化・産業の振興を根幹とするまちづくりを共に考え、交流を深め、まちづくりに対する思いを共有できることは、誠に意義深く、喜ばしい限りであります。

織田信長サミット加盟市町は「サミット宣言」の主旨を尊重し、今後一層の連携、友好を深めるため、ここに第二十五回 織田信長サミットの決議を次のとおり提案します。

一 サミット参加市町は、織田信長公が残した歴史と文化遺産を高く評価し、歴史を活かしたまちづくりを推進するとともに、相互の情報交換や交流の推進を一層図るものとする。

一 サミット参加市町は、地方分権時代を迎え、個性的なまちづくりを行うため情報交換や観光物産交流の推進を図るものとする。

一 サミット参加市町は、相互の友好、信頼の精神に基づき、大規模な災害が発生した場合に、互いに協力し、支援するものとする。

右、決議する。

平成二十五年四月十三日

第二十五回 織田信長サミット会議